

ながいもの安定多収には芽出しの湿度管理が大事！

概要 Abstract

催芽（芽出し）の時の湿度を100%から80%に変えると、

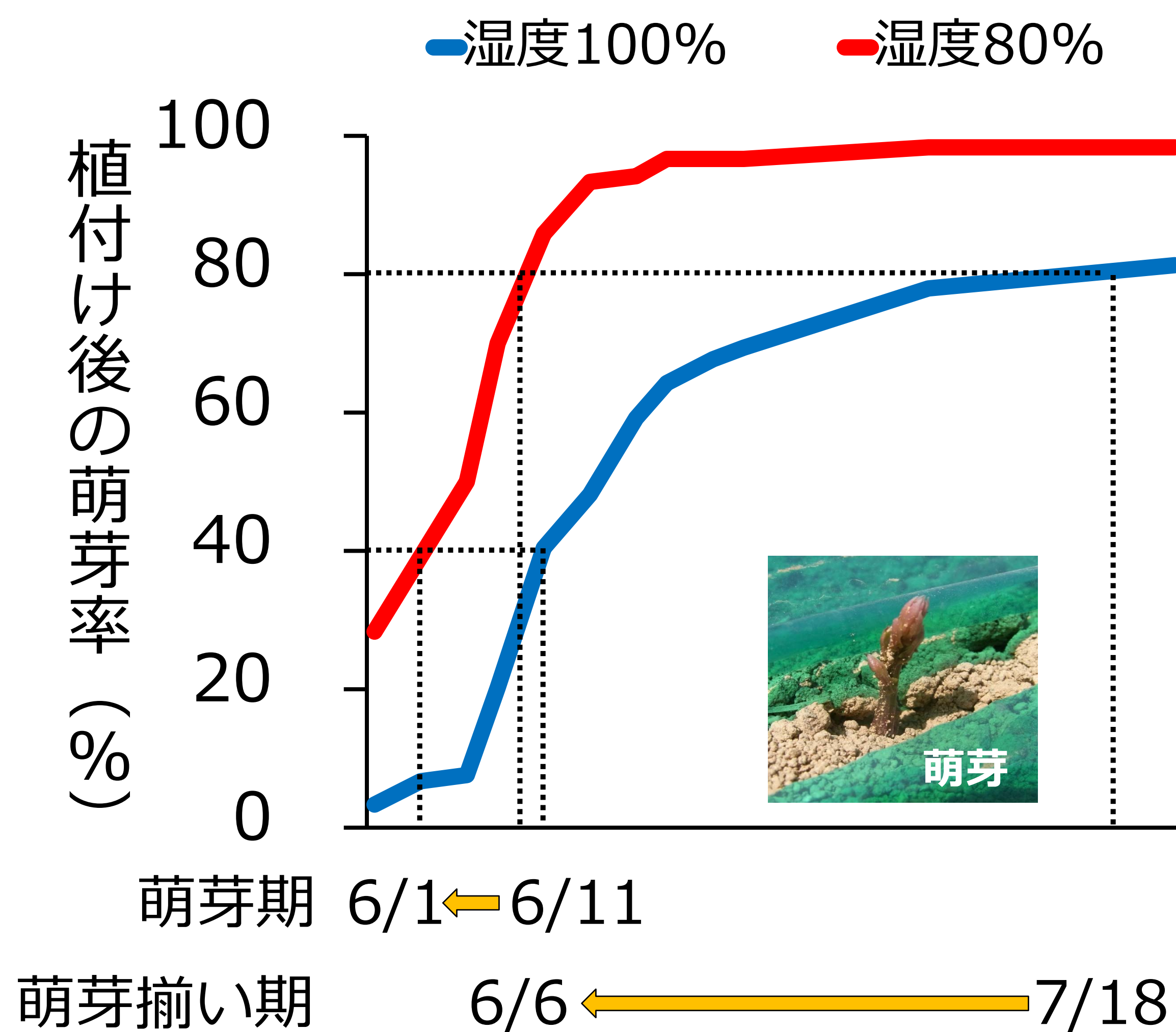
①植付け後の萌芽が早く、揃いも良くなります。

②大きな減収要因の一つである不萌芽がほぼ無くなり増収します。

③湿度80%は、催芽期間が長くなりますが、作業体系は大きく変わりません。

成果 Results

①萌芽性が格段に向上する

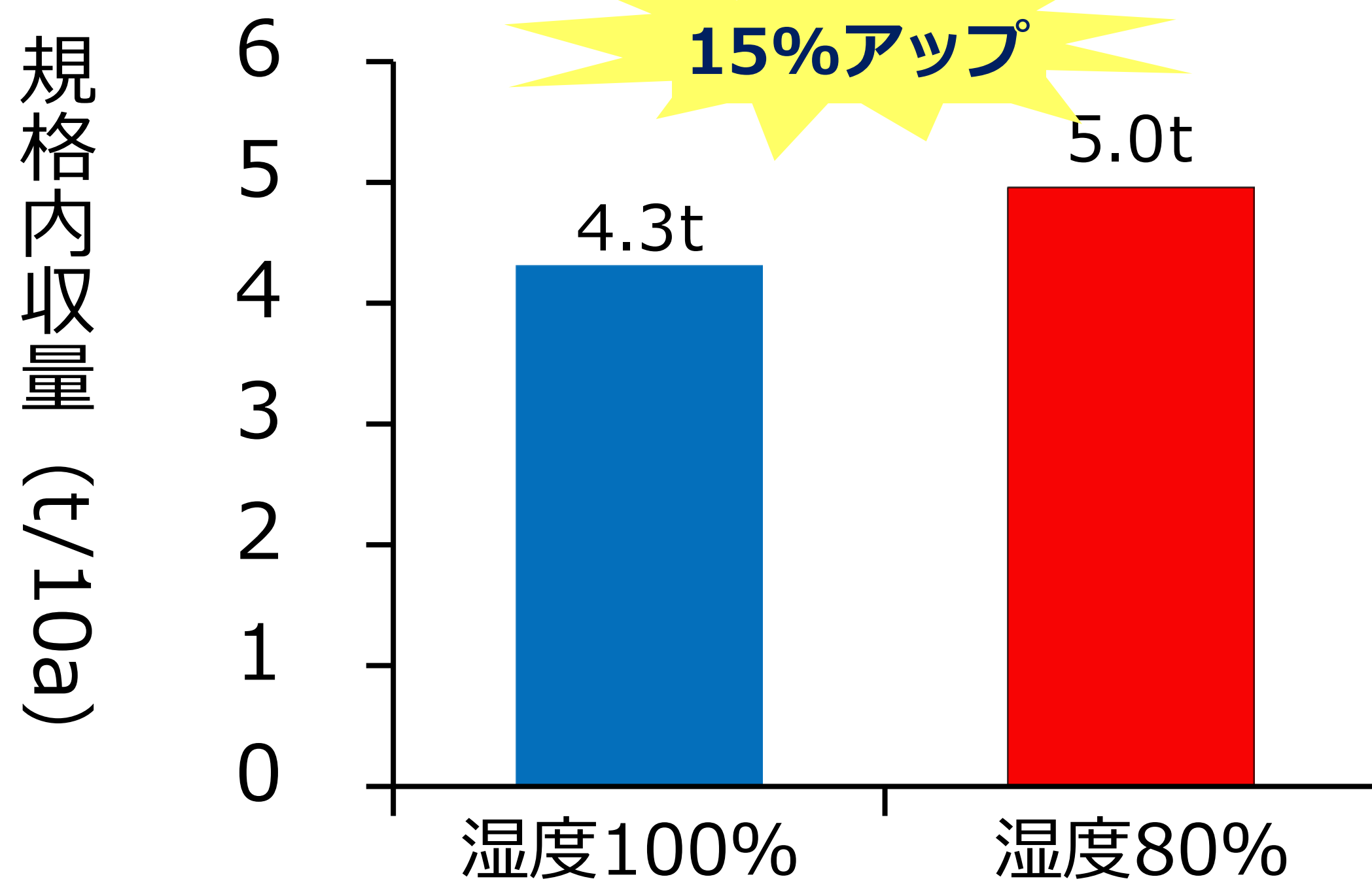


②欠株（不萌芽）が減り、収量が増える



湿度100%

湿度80%



③提案する催芽法と作業体系

月 催芽法		3月		4月		5月			6月		
		下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
改善 (湿度80%催芽)		●調製　✕1リンク　　催芽　　順化　▲植付　　萌芽									
現行 (湿度85～ 99%催芽)	春掘あり	●調製　✕1リンク　　催芽　　順化　▲植付　　萌芽									
	春掘なし	●調製　✕1リンク　　催芽　　順化　▲植付　　萌芽									

普及 Dissemination

○湿度の改善で10a当たり粗収益が約20万円アップします！

○作業や費用はほぼ変わりません！

連絡先 Contact

十勝農業試験場
研究部 地域技術グループ
0155-62-2431
tokachi-agri@hro.or.jp